

ボランティア・
NPOの情報誌



68号

Jul. 2024

とくしま県民活動プラザ

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地

沖洲マリンターミナルビル1F

tel:088-664-8211 fax:088-664-5345

e-mail:info@plaza-tokushima.com

https://www.plaza-tokushima.com

休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日、年末年始)



マスコットキャラクター プラザ

CONTENTS

特集 NPO法人 徳島能楽振興会
能楽

ひと レインボーとくしまの会 代表
長坂 航さん

誰もがありのままに
自分らしく生活できるような社会を目指して

シリーズ この人から
一般社団法人 リボンズ 代表
大谷あおいさん
困難な問題を抱える女性の支援について

事業紹介 令和6年度
とくしま県民活動プラザの事業を紹介します

ハートリレー
No.68 池田さんから新田さんへ

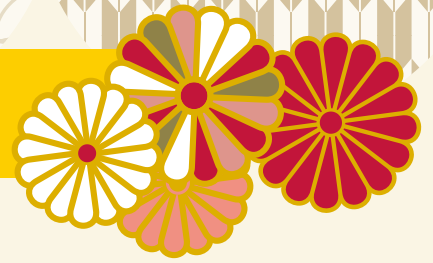


能楽

NPO法人徳島能楽振興会

「羽衣」
シテ 寺澤 幸祐

NPO法人 徳島能楽振興会



NPO法人 徳島能楽振興会について

明治8年に蜂須賀家の能舞台が取り壊されて以降全国で唯一、能舞台がない徳島県で能・狂言が根付くことを目指し平成16年より活動しています。(NPO法人化は平成18年)

学校への能楽出前授業や年1回のこども能楽体験教室と能狂言公演などを企画。徳島県内に能楽堂を建設することを目標に活動しています。

能楽とは

「能」「狂言」は、室町時代からおよそ650年以上、途絶えることなく演じられてきた、日本を代表する舞台芸能です。「能」「狂言」を合わせて「能楽」と呼ばれています。言葉や節回しは、古く室町時代の様式を今に残しており、豊臣秀吉や徳川家康など多くの武将に愛されました。現代では日本で最初のユネスコ無形文化遺産に登録され、海外からも高く評価されています。

能は謡(歌・セリフ)と囃子(楽器)に合わせて演じられる歌舞劇で、多くの曲で演者シテ方が能面という仮面をつけているのが特徴です。登場人物は人間だけでなく神や鬼、妖怪や幽霊などこの世のものではないものも登場し、また、演者は様式化された簡素な動きで感情を表し、物語が進みます。

狂言は、中世の庶民の日常生活を明るく描いた、セリフが中心の喜劇です。能と異なり、ほとんどは面をつけずに演じられ、笑いを通して人間の普遍的なおかしさを描き出します。

徳島では江戸時代に喜多流と金剛流が多く演じられてきました。しかし蜂須賀藩の上級武士の大半が明治3年の庚午事変の影響で閉門蟄居謹慎の処分を受け、徳島の能楽は急速に衰退し、以後の回復は困難となりました。



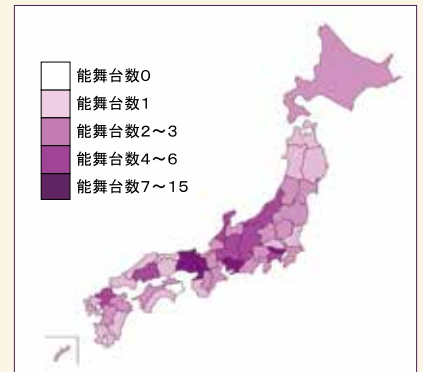
NPO法人 徳島能楽振興会
理事長 吉田 秀夫 さん

徳島にも能楽の文化を

昔は徳島県にも能舞台があったんです。でも、廃藩置県後の明治8年に取り壊されてしまっただけから再建されていません。昭和27年に新生文化庁が能の定義の一つに『伝統的な能舞台で演じられること』とあり、伝統的な能舞台とは三間四方以上の能舞台、二間以上の橋掛かり、老松の鏡板、等が挙げられています。実は公共施設で能楽堂がない都道府県は徳島県だけです。

能楽を1回公演をすると多額の費用がかかります。能舞台がないので仮設能舞台を県内外からレンタルが必要となりますし組み立てや解体にも多くの人がかかります。演者である能楽師も県外から呼ばないとはいけません。もし徳島に能舞台があれば、自然と能楽に触れる機会も増えますし興味を持ってくれる人も増えると思います。能楽やお囃子を学びたいと思う人が多くなって、いつか将来プロの能役者が徳島から出てくることを期待しています。

これからの徳島を担う若い人たちに能楽を知り楽しんでもらいたいという思いで、能楽の普及啓発活動に取り組んでいます。どんどん盛んになると、今よりもっと徳島の芸能文化が底上げできるんじゃないか、その為に、自分たちには何が出来るか日々考えながら活動をしています。



メンバーのコメント



副理事長
後東 容子 さん

能楽ア・ラ・モードは新しく始めたイベントです。参加者アンケートで「今度は本格的な能楽を鑑賞したい」と書いてくれたのを見たときはとても嬉しかったです。もっと能楽の文化を身近に感じてほしい。その為にも徳島に能舞台は必要だと思います。



理事
里 由起子 さん

能楽の出前授業や子ども体験で子どもたちの反応がとっても良いので、やりがいを感じます。お礼の手紙を頂くと「初めてだったけど実際に触れて嬉しかった」と書いてくれていて、やって良かったな、と思います。特に次の時代を担う子どもたちには、ホンモノの能楽に触れる機会を増やしてあげたいと思います。



理事
山城ゆかり さん

「能楽って敷居が高くて・・・」という声をよく聞きます。その為に演目の内容を分かった上で鑑賞できるように能楽公演の前にはセミナーを開催し解説を行っています。誰でももっと能楽を気軽に感じてほしい、と思っています。

活動内容



子ども能楽体験 (出前授業含)

子どもたちに能楽を身近に感じてもらう為、小学校などへ出向く出前授業と、ホールなどで実際に体験してもらう活動を実施している。



能楽公演

本格的な能楽を徳島で公演して欲しいという強い要望もあり、定期的に能楽公演を実施している。平成25年には狂言師の野村萬齋氏を招聘したこともある。



◀演奏とその解説を交互に行い気軽に鑑賞出来る



強度計で鼓の打面の強度について説明をしているところ▶

能楽ア・ラ・モード

能楽を音楽の視点から鑑賞するイベント。お囃子や仕舞を気軽に鑑賞できる。令和4年から今までに3回実施している。

(仕舞とは：能面や装束を付けずに能を舞うこと。能における略式上演形態の一種)

お問い合わせ先

事務所：770-0861 徳島市住吉三丁目8番32号
e-mail：yoshihide@rhythm.ocn.ne.jp
URL：http://tokusima-nougaku.sakura.ne.jp
Tel & Fax：088-625-9907

日本の伝統芸能である能楽を楽しみたい方はぜひ一度連絡を

ホームページ▼



(取材：森口・福良)



誰もがありのままで 自分らしく生活できるような 社会を目指して

今回お話を聞いたのは、「レインボーとくしまの会」代表の長坂航さん。
性的マイノリティの当事者であるご自身の体験や今後の活動の展望などをお聞きしました。

高校卒業までは徳島県阿南市で生活をされ、その後大阪で飲食業に従事されていました。ご自身が同性愛者かなと思いはじめたのは10代の頃。その時代は男性同性愛者が「ホモ」と呼ばれメディアでもお笑いの対象となり、同性愛を公にすることにはまだまだ抵抗がありました。そのため、本当の自分では理解されない、認めてもらえないという辛さから自分自身と葛藤する日々でした。その後、父親の介護で徳島にUターンし、自分らしく生きたいという思いから約25年前に「ゲイバー Bitch」をオープンさせました。徳島ではパートナーと同棲生活を送っていたのですが、突然パートナーが病気で緊急手術をすることに。毎日一緒に暮らしている家族同然の関係ですが、病院では「他人」のように冷たく扱われ、手術同意書のサインができないだけでなく、病状の説明すら聞かせてもらえないという状況に困惑。この不条理をどうにかしないとけないという思いが団体設立のきっかけとなりました。

団体活動としては、県や市町村議会に対して「パートナーシップ宣誓制度の導入」について陳情を行ってきました。長坂さんが先頭に立ち行動する姿は何度もメディアに取り上げられ、当事者の方を幾度となく勇気づけてきました。その甲斐あって制度の導入が、徳島県をはじめ、徳島県内8市2町に徐々に広がりました。「この制度で、性的マイノリティの人が増えるわけではありません。ただ、これまで声を上げることができなかった人たちに新たな選択肢ができ、生きづらい思いをしている人が安心してパートナーと暮らしていけるんです。」と話してくれました。また、性的マイノリティの人に“自殺を考えたことがあるか”と質問したら、「ある」と回答した人の割合は、60%以上にも上ります。この現状を何とかしたいと、鳴門教育大学大学院の葛西真記子教授が中心となって性的マイノリティの人々の心理的支援と社会的支援を行う「SAGとくしま」の活動にも賛同し協力しています。(SAGとはAll Sexuality and All Genderの略)

また、今年2月にはパートナーと結婚式を行い、愛を誓い合いました。この結婚式は多くのメディアに取り上げられ、「性的マイノリティについての理解が進んだ」という手ごたえを感じたそうです。そして、この結婚式でたくさんの人に祝福されている2人を見て、長坂さんの弟さんも「苦勞してきた分、兄が報われて、僕もこうして新しい家族になれたことを嬉しく思っています。」と泣いて喜んでくれました。



結婚式の二人



レインボーとくしまの会 代表

なが さか わたる
長坂 航さん

「今後は徳島県だけでなく県外の自治体へも働きかけを行い、誰もが自分らしく生活できるような社会を目指したい。世界的に見ると日本は先進国に比べて30年くらい遅れています。相続の問題など現状では解決できない問題もまだまだあります。僕が目指すところは『同性婚』です。」と語られる長坂さんの瞳は情熱に溢れ、力強さを感じました。

(取材：桑村・田岡)

レインボーとくしまの会 お問合せ先

住 所 徳島市秋田町2丁目16
ヴィゴラスビル2F

メール aquakazuki1978@gmail.com



困難な問題を抱える女性の支援について



公認心理師・臨床心理士の公的機関で女性相談や福祉部門に携わる。現在はカウンセリングオフィスフラミンゴにて、トラウマを抱える女性のケアを行っている。
2020年3月より現職。

おたに

一般社団法人 リポonz 代表 大谷あおい

困難を抱える女性たちを含めた女性支援法が4月より施行されました。これまでは売春防止法で動いていた婦人保護事業が、女性支援事業となり、中身も刷新されました。保護の対象から、支援へと変わったのです。これにより、困難を抱える女性たち(若い女性もここに入ります)が、支援を受けやすくなればと思います。東京や大阪の繁華街ビルに集まる若い女性のことがニュースになっています。女性たちは、学校や家庭、地域にも居場所がないから、街にでたり、SNSで漂うようにしているといえます。その中で性産業に取り込まれたり、性被害にあったり、労働や賃金の搾取に会うことも後をたたないと聞きます。都会の話ではなくて、地方でも多発していると支援団体は実態を伝えて

います。彼女たちは、これまでのかかわりの中で、支援と繋がることもなく、あるいは支援を求めようと思わなくなる経験があったのかもしれませんが。それでもなんとか繋がれたらと思います。女性支援法ができたことにより、敷居の高かった行政が、身近になればと思います。行政は生活に密着したいろいろなことをしていますので、行政につながることもしていけたらとも考えています。



令和6年度 とくしま県民活動プラザの事業を紹介します

ぜひご活用ください

NPO強化事業	NPOやボランティア団体が社会貢献活動を推進するために行う各種事業に講師を派遣します。(講師の謝金と旅費一部をプラザが負担します)
NPO・ボランティアポスター展	県内で活躍中の団体をポスターでご紹介します。今年度は県内7会場で開催予定です。(詳細・応募はプラザHPまで)
プラザ主催講座	NPO等の人材育成や組織強化のための講座を開催します。
NPO・ボランティアおためし体験	社会貢献活動に興味がある方やこれから活動を始めてみたいと考えている方を対象に、県内のNPO活動やボランティア団体等が行うボランティア活動を実際に体験してもらう事業
NPO法人支援事業	NPO法人の設立・運営に関する相談やNPO法に定める事業報告書等の受付を行います。





No.68 池田さんから新田さんへ



NPO法人ボランティアドッグ育成センター
しん でん のりよし
新田 訓由 さん

犬に認められる人

バタバタ動き回っていた犬のリードを新田さんが握った途端、犬の動きが止まりました。落ち着き払って新田さんと歩く。座る。指示に従ってます。まるで魔法をかけたように模範犬になりました。新田さんによると、頭が良い犬は、リードを持つ人の技量を見極め、この人に従うか従わないかを判断するそうです。新田さんは、警察犬、災害救助犬、介助犬、聴導犬を育成、そしてその指導もしてきました。こうした活動をさらに広げようとNPOを結成する際に、私にも声をかけていただきました。保護犬を訓練してボランティア犬やモデル犬に育成、老人ホームでのアニマルセラピーなど、犬の持つ能力を引き出し、犬の魅力が社会に発信しています。活動の中で聴覚障害者の方に出会い、その事が私が手話を勉強するきっかけになりました。そしてラッキーな事に、手話が私の人生を変えてくれました。

いけだ きみこ
文・池田貴美子



とくしま県民活動プラザ

- プラザ開館時間 開館時間：10:00～18:00
- 【研修室利用時間】 火曜日～土曜日：10:00～21:00
- 日・祝日：10:00～18:00
- 休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始(12/29～翌1/3)



● 公共交通機関をご利用の場合 ●

- JR徳島駅前、徳島市営バスターミナルより、
- ・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリントーミナル」下車すぐ
- ・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリントーミナル前」下車すぐ

編集後記

今年もどうやら猛暑となりそうですが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。日々の業務では、まだまだ不勉強な事も多く、スタッフの皆さんに支えられながら仕事をこなしています。少しでも皆さんの力になれるよう精進していきたいと思っておりますので、引き続きご指導よろしくお願ひします。(志摩 和彦)

CLE NUP アドプト・プログラム吉野川
吉野川を私たちの手でもっときれいに!

参加団体募集中!!

HPはこちらから↓

吉野川交流推進会議 徳島県庁 生活環境政策課内
TEL:088-621-2743 FAX:088-621-2758

徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!



一般社団法人
徳島県医師会

会長 齋藤 義郎
徳島市幸町3丁目61番地
TEL 088-622-0264

2025年度生(2025年4月1日学習開始)9月1日より受付開始! 教育訓練給付制度対象講座

社会福祉学科 通信課程

一般養成課程 (1年6ヶ月コース)
一般養成課程 (1年コース)

短期養成課程 (9ヶ月コース)

精神保健福祉学科 通信課程

一般養成課程 (1年7ヶ月コース)

短期養成課程 (9ヶ月コース)



詳しくはこちらからHPをご覧ください。

好きを極めてプロになる

専門学校 徳島県立バティンエ福祉カレッジ
〒760-0021 香川県高松市西の丸町14-10
TEL.087-873-2455